

2025年



かわむら小児科

モ〜モ〜くらぶ

公式 LINE



夏かぜについて

夏かぜとは夏に流行るウイルス性の病気を言います。コクサッキー、エンテロ、エコー、アデノウイルスなどがあります。今年は先月からヘルパンギーナが流行ってきているようです。

【ヘルパンギーナ】

コクサッキーウイルスの感染で起こります。38〜40℃の高熱が2、3日出ます。のどが赤くなり、のどの奥に小さな水ぶくれがいくつもできます。のどが痛いときは固いものやすっぱいものを避けます。

【手足口病】

いろいろとウイルスはありますが、今年はまだあまり出ていないようです。普通の手足口病の発疹は手のひら、足の裏に発疹、水疱ができます。膝、お尻にも出ます。通常の手足口病は熱はあまり出ないのですが、熱の出るタイプもあります。のどからは2〜3週、便からは4〜5週間ウイルスが排出されますので長い期間うつりますし、発疹が出る前からうつります。発疹からうつるわけではありませんので、熱がなく、体調がよければ登園、登校は可能です。

【アデノウイルス感染症】

40種類以上あります。38〜40℃の高熱が5日ぐらい続きます。扁桃せんにうみが付いたりする渗出性(しんしゅつせい)扁桃炎と呼ばれるものが多いのですが、目の充血も見られるものを咽頭結膜熱と言います。プールで感染することもあるため、プール熱とも言われます。現在のところはあまり流行していません。

いずれも特效薬はなく、抗生剤は効きません。対症療法、安静と水分補給で様子を見ます。感染力は強く潜伏期は2〜7日程度です。熱が下がって普通に食べられて元気であれば通園・通学してもかまいません。

.....感染症情報(7月1日現在).....

- ★小学高学年から高校生では百日咳がまだ流行しています。
- ★インフルエンザB型、コロナウイルスも少し見られます。
- ★溶連菌感染症も少しあります。

夏の皮膚トラブル

夏は皮膚トラブルが増える時期です。夏のスキンケアで大切なことは、皮膚を清潔に保つこと、乾燥を防ぐこと、紫外線対策の3点です。

【汗疹(あせも)】

高温多湿下の環境をできるだけ避け、入浴やシャワー浴などで皮膚を清潔に保ち、吸水性のよい下着を選択することが悪化の予防になります。

【日焼け】

紫外線の強い午前10時から午後2時頃までは長時間の屋外での活動を避け、遊ぶ時でもできるだけ日陰を選びましょう。

つば付きや首の後ろまでカバーできる帽子をかぶり、薄い長そでを着用したり、海やプールではラッシュガードで肌を守ると良いでしょう。

1歳以上で自分で歩けるようになった幼児には日焼け止めの使用をお勧めします。こまめに塗りなおしてあげましょう。

(ホットケーキ)

おさんぽトコちゃん トコトコトコ

作・絵:宮西達也

おさんぽ大好きな女の子のお話です。お散歩中不思議な想像の世界がどんどん広がってきます。トコちゃん家にたどり着けるかな?



裏表紙の絵がとても素敵です。

(ぴーなっつ)

7月19日(土)午後 休診

全国病児保育研究大会出席のため